

緩和ケアだより

松江市立病院 緩和ケア病棟広報誌

緩和ケア病棟の夏祭り

2021

vol.

32

 松江市立病院 緩和ケア病棟

題字デザイン：Katsuto Nagira

緩和ケア病棟の理念

緩和ケアとは、苦痛の緩和を必要とする悪性疾患の患者とその家族のQOL（人生と生活の質）を改善することです。

当院緩和ケア病棟では、患者やその家族の想いを可能な限り尊重し、その人らしい生活を送ることができるように、さまざまな専門家とボランティアがチームとして支えます。

基本方針

1. 痛みやその他の苦痛となる症状を緩和します。
2. 患者さんがその人らしく生きることができるように支えます。
3. 無理な延命や意図的に死を招くことはしません。
4. 病気の早い段階から適用し、積極的な治療に伴って生ずる苦痛にも専門性をもって対処します。
5. 患者さんの希望に沿い、在宅への支援を行いません。
6. 患者さんの療養中から死別した後に至るまで、家族が様々な困難に対処できるように支えます。



CONTENTS

| | |
|--------------------------|-----|
| ● Message 『「野菜を食べなさい」の巻』 | 1 |
| ● 新入職員紹介 | 2 |
| ● 今回のミドコロ～夏祭り～ | 3・4 |
| ● 季節の行事 | 5・6 |
| ● 徒然日記 | 7 |





副看護師長
(がん化学療法看護認定看護師)

山田 恵子

「野菜を食べなさい」の巻

山の緑が病棟から目前に広がる季節を過ごしなが、今年は豪雨雷雨も加わり、ふと気がつくとも梅雨があがり、猛暑となっています。毎年暑さはどんどん厳しくなっているなか、「コロナ退散」を祈るのも2回目の夏です。

さて、私は今年の4月外来から異動し勤務させていただいております。外来では主にがんセンターの外来化学療法室で専任として働いていました。がんの治療期の患者さんとたくさん関わり、多くの学びや気づきがありました。患者さんやご家族と泣いたり笑ったり貴重な経験の日々でした。今はさまざまながん治療を乗り越えてこられた方々と出会うことが出来ています。がん治療には、手術・放射線療法・薬物療法があり、病気を告げられたその日から選択の連続が始まります。特に薬物療法を受ける患者さんは、治療効果に期待しながら、薬の副作用と闘い自分の生活を過ごしておられます。

たくさんの患者さんやご家族と出会う日々のなかで私は、なんとか少しでも患者さんやご家族の不安を和らげることはできないか悩み、研修を受講し認定看護師になりました。命をかけて治療に向かう方々を前にして、ベストなケアを提供できるようになりたい、と思いました。治療への思いはその方々を知ることから始まり、お一人お一人全く違うと思っています。なかでも私が大切にしていることは、「聴く」ということです。時にはただひたすら黙ってそばにいたり、時間が足りないほどお話が尽きなかったり、電話でのお話を聴くこともありました。支えになるということは、多種多様な方法や場面があり、まだまだ未熟で、ずっと未完成な自分だと思っています。

いつも心に持つ言葉があります。「治療のための人生ではなく、人生のための治療」です。緩和ケア病棟に配属になり、今更ながら「看護の原点」に気付かされ学ぶ毎日です。まだ慣れず、汗だくの毎日ですが、今までの自分の経験や学びを総動員して患者さんやご家族を支えたいとあらためて強く感じています。

「野菜を食べなさい」とは、私がお昼休みにコンビニお弁当を食べているとき、ある医師から掛けられた言葉です。病棟は多様な職種のスタッフの会話で溢れています。お互いに知恵を出し合って、協力しながら仕事出来る職場です。毎日しっかり野菜を摂りながら、体力、知力、心で患者さんのお手伝いがしていきたいです。なんでも気軽に声をかけてください。どうぞ宜しくお願いします。



新入職員紹介

緩和ケア病棟のスタッフは、症状緩和、その人らしさを大切にした日常生活の援助、家族のサポートなどに努めています。

また、患者さん、ご家族の希望を把握し、環境を整え、多職種間での調整役をしています。このコーナーでは松江市立病院の緩和ケア病棟の新しいスタッフを紹介します。



副看護師長
山田 恵子



看護師
石原 典子



看護師
玉木 香織

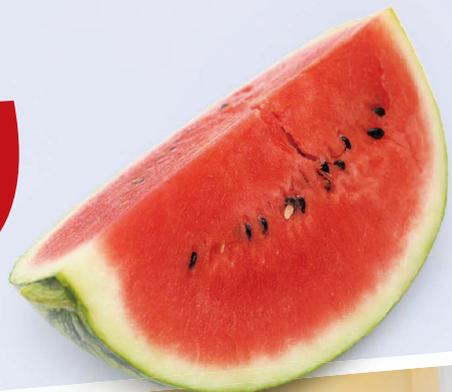


看護師
景山 智子



今回の
ミドコロ

夏祭り



令和3年8月5日

今年も夏祭りを行いました。みんなで作った提灯がお祭りの雰囲気を一っそう盛り上げました。新型コロナウイルスでお祭りが軒並み中止となる中、少しでも夏の雰囲気を感じていただけたでしょうか。



あつ、スイカが邪魔してる



いつもカメラマン
ありがとうございます!



たくさんすくえましたね~



ふたりとも笛吹いて遊んでないで
手伝ってくださーい



たこ焼きはいつも
大忙しだね~



お祭り



たまには遊びます



裏方のボランティアさんは
汗たぐです



かき氷が涼しそうです





バえてる?



安部先生と
スイカの妖怪です



今年もやりましたね
師長さん!



準備している
ボランティアさん



研修医の先生も遊びに
来てくれました!



看護助手さんも夏祭り



食べ物はお部屋でどうぞ



射的と輪投げも
あります



スーパースクールすくいです



打つよ~!



看護師さんの浴衣姿!



安部先生も射的に
チャレンジ!



輪投げと射的の係です



大成功~!

花

令和3年3月25日

見

お天気も良く、みなでお花見に出かけました。まだ風は肌寒いものの空気は澄んで桜も満開でした。今年はずいぶん早かったように思います。そして花より団子な女子たちは、その帰りに院内のカフェでお買い物…♪♪♪



お天気よくて最高でした



満開です



花見の帰りにカフェで寄り道♪



花びら何枚あるかな？



たんぽぽも咲いてました



お雛様と桜

七

令和3年7月8日

夕

さて今回の内容は…師長さんが織姫様。初めてのキレイどころです。窓には患者さんで作ったアマビエのちぎり絵を飾り、スタッフやボランティアさんによるミニコンサートが行われました。



マスクをしていてもすごい声量！
ボランティアさんの歌声に脱帽です



織姫と彦星



中右Dr.の超絶技巧！



研修医のギター演奏



七夕饅頭とフルーツみつめ



患者さんみんなで作ったちぎり絵



安部先生も歌います！



長崎物語の歌詞ですね

端午の節句

令和3年5月13日

看護師長の仮装がすっかりスタッフの話題の中心となりました。今回は「アマビエ」です。そして研修医の先生も大活躍です。柏餅つぼくするための頭の皮(帽子)はボランティアさん作成。患者さんやご家族の皆さんも捧腹絶倒でした。



柏餅が仁王立ちしてますね



仮装1

柏餅です。
こんな格好ですが
研修医です!

かなり面白いけど
まだ大丈夫



ボランティアさんのド迫力の歌声!



ボランティアさんと音楽療法士の『瀬戸の花嫁』



仮装2

武士で一す

ちよつとやばい



仕事の邪魔〜!



仮装3

疫病退散!

笑いが止まらない



いつも撮影ありがとうございます



師長渾身のアマビエです



恥ずかしがり屋さん♡



準備に忙しそう!



安部先生のハーモニカ演奏



みんながんばったー

徒然日記



あなた何してござる?



みんなで作る折り紙



ピアノ演奏に聴き入る患者さん



セロ弾きの...?

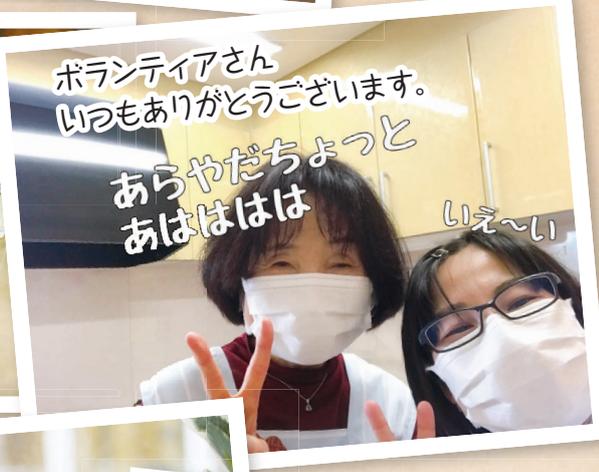


できな〜い

リハビリスタッフに特訓を受ける安部先生



患者さんと語る師長。



ボランティアさんいつもありがとうございます。あーやだちょっとあははは

いえ〜い



すごいなあ

これできると段差も一人でいけますよ〜



患者さんの作品。まるで本物です。



ボランティアさん、患者さん、スタッフで談笑中。



研修医の先生がクラシックギターを披露してくれました!上手〜!



日本の情勢は厳しいのお〜

編集後記

とうとう山陰地方にも、デルタ株が確認されました。まったく衰えを見せない新型コロナウイルス…出来ることをやるしかないとは言えども、やるせない気持ちになります。ワクチンもどこまでその効果を発揮してくれるのか。

そして拍車をかけるように山陰地方はこの夏豪雨に見舞われ、職場の仲間たちも多くの人が被害を受けました。まだ復旧していない所もあります。

だがしかし、そんな暗いニュースばかり、としょんぼりしてはられません！今回も見どころ満載な内容となりました。

ボランティアさんたちに大きな力を頂きながら、患者さんやご家族のみなさんにほっとしていただける時間をこれからもスタッフみんなで作っていきたいと思います。

西 紫

編集
委員会

編集長：安部 睦美
校正：岩下 智之、和田 祥恵
編集・写真：西 紫

令和3年8月 発行

松江市立病院 緩和ケア病棟

〒690-8509 島根県松江市乃白町32-1

TEL：0852-60-8000（代表）／FAX：0852-60-8005（総務）



松江市立病院
MATSUE CITY HOSPITAL